



独自の「らせん型教育」で 世界で活躍する技術者を養成

Ranking

全国工科大 第9位
北陸・東海工科大 第3位

2023年著名400社実就職率

Ranking

全国 第3位
北陸・東海 第2位

2023年大学院進学率

豊橋技術科学大学は、「2023年著名400社実就職率」ランキングで全国工科大で第9位、北陸・東海地区の工科大で第3位になるなど、就職実績に定評があります。また、日経HR『日経キャリアマガジン特別編集 価値ある大学2023-2024就職力ランキング』では、「採用を増やしたい大学」ランキングで全国第1位に選ばれています。

豊橋技術科学大学は、各課程・専攻での専門教育はもとより、学生への就職サポートにも力を入れています。就職担当教員を中心とした手厚い支援に加え、キャリアコンサルタントの資格を持つ担当者が学生の相談に応じることで、就活を後押ししています。

就職関連の行事も多彩です。10月の「学内企業研究会」、3月の「学内企業説明会」には、約180社の企業が参加します。各企業や業界について知り、自分の進路を考える機会になっています。インターンシップについても、事前ガイダンスの実施に加えて、「インターンシップ学内マッチング会」を開催することで、効果的なインターンシップ参加を支援しています。こうしたサポート体制により、2023年3月卒業者の就職率は99.0%（就職者417人／就職希望者421人）で、毎年100%に近い就職率を維持しています。

豊橋技術科学大学では大学院に重点を置き、学部・大学院一貫教育体制を整備しています。大学院博士前期課程の定員を多く設定することで、ふさわしい能力を持つ学生に門戸を開き、高度な研究活動に注力した教育を推進しています。

豊橋技術科学大学の教育の特徴は、「らせん型教育」です。これは、学部1・2年次と高等専門学校において一定の技術教育（基礎・専門）を学んだ学生に対して、3年次からより高度な基礎・専門教育を繰り返しながら、「らせん型」のように知識・技術を積み上げていく教育です。大学院進学前の学部4年次には、「実務訓練（必修）」で産業界での長期の実務を体験することにより、実社会における技術者として、課題への取り組み方を体験するとともに、博士前期課程で求められる教育の意味を理解していきます。

基礎・専門を繰り返しながら社会での実践教育を行う「らせん型教育」により、優れた技術開発能力を備え、日本の産業をけん引する高度な技術者を養成しています。また、広い視野と柔軟な思考力、豊かな学識を備えてグローバル時代を切り拓く人材を数多く輩出しています。

入試 TOPICS

- 新高等学校学習指導要領に対応し、2025（令和7）年度入学者選抜より、「学校推薦型選抜」「一般選抜」の入試内容を一部変更します。
 - ・ 学校推薦型選抜：一部の出願資格及び素養調査の範囲を変更します。
 - ・ 一般選抜：大学入学共通テストの受験を要する教科・科目、個別学力検査の内容を変更します。
 豊橋技術科学大学への出願を検討している方は、是非大学ホームページから最新の入試情報をご確認ください。

学部/学科情報

- 工学部/機械工学課程、電気・電子情報工学課程、情報・知能工学課程、応用化学・生命工学課程、建築・都市システム学課程

主な Ranking Data

2023年著名400社業種別実就職率(繊維) ■ 北陸・東海第1位	2023年著名400社業種別実就職率(機械・機器) ■ 北陸・東海第5位
2023年著名400社業種別実就職率(鉄鋼・金属) ■ 北陸・東海第2位	2023年著名400社業種別実就職率(自動車) ■ 北陸・東海第5位
2023年著名400社業種別実就職率(電気機器・電子) ■ 北陸・東海第2位	研究力が高い大学 進 北陸・東海第3位
2023年著名400社業種別実就職率(建設・住宅) ■ 北陸・東海第4位	科学研究費の補助金が高い大学(1966~1980年設立大学) 朝 全国第4位

Information

バイリンガル講義を実践

豊橋技術科学大学では、多文化共生グローバルキャンパスの創成を目指して、バイリンガル講義を実施しています。留学生と日本人学生が同じクラスや研究室で学び、最先端の知識と技術を身につけるとともに、バイリンガル講義を通じて実践的な英語力と日本語力の両方を磨いています。学生の英語力も、ここ数年で向上しています。